

## 第4期（平成25年度）事業計画に関する事項

本財団は、生命科学を中心とする医学、薬学及びこれに関連する物理学、化学、工学、生物学等の先見的独創的研究を育成し、かつ、これらの成果を総合して医療をはじめとするヘルスケアに応用し、もって我が国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とし以下の事業を行なうものとする。（定款第3条）

### 1. 定款第3条に規定する研究の助成（定款第5条第1項第1号）

- (1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究
- (3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究
- (4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究
- (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- (6) 創薬とその臨床応用に関する研究

上記（1）から（6）までの研究課題につき公募を行ない、助成対象研究は計80件以内とし、選考採択する。その予算を24,000万円（研究助成金1件300万円）とする。

又、財団設立30周年記念事業の一環として上記対象研究のうち各領域で最も優れている研究を30周年記念助成金交付対象研究として6件以内を選考採択する。その初年度分の予算\*を2,400万円（1件400万円）とする。

これら2つの助成金交付に係わる研究助成金総額の予算を26,400万円とする。

\*30周年記念助成金交付対象者には次年度、次々年度に各300万円を交付する。（1件1,000万円）

### 2. 定款第3条に規定する研究の進歩発展のため顕著な功績のあった研究者に対する褒賞（定款第5条第1項第2号）

- (1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究
- (3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究
- (4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究
- (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- (6) 創薬とその臨床応用に関する研究

上記（1）から（6）までの研究分野において研究の進歩発展のため顕著な功績のあった研究者について全国の主要学会及び本財団の理事、諮問委員にその推薦を依頼し、2件以内を採択し、各々に持田記念学術賞及び副賞（1,000万円）と30周年記念事業として本年度に限り特別付加金（500万円）を加えた1,500万円を贈呈する。その予算を3,000万円とする。

3. 定款第3条に規定する研究を行う者の国内留学又は海外留学の補助（定款第5条第1項第3号）

- (1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究
- (3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究
- (4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究
- (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- (6) 創薬とその臨床応用に関する研究

上記(1)から(6)までの研究課題につき公募を行ない、留学補助金交付対象者として20件以内を選考採択する。その予算を1,000万円(1件50万円)とする。

4. 定款第3条に規定する研究に関する学会等への研究者の招聘の助成（定款第5条第1項第4号）

- (1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究
- (3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究
- (4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究
- (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- (6) 創薬とその臨床応用に関する研究

上記(1)から(6)までの研究に意欲的取り組んでおり、国内における学会のシンポジウム等において講演等を行なう研究者の招聘に関わる費用の一部を助成する。対象を10件以内とし、その予算を500万円(1件50万円)とする。

5. 上記1～4の事業を実施するために要するその他の費用

- (1) 平成24年度の持田記念学術賞受賞課題の総説ならびに研究助成金、留学補助金申請書の一部項目を抜粋し年報として出版するほか平成25年度の研究助成金等交付対象者一覧表、贈呈書等を作成する。その予算を400万円とする。又、財団設立30周年記念事業の一環として過去の持田記念学術賞受賞者に最近の研究成果ならびに学術賞受賞や財団にまつわるエピソード等について原稿を依頼し、30周年記念誌として発刊する。記念誌印刷製本費の予算を200万円とする。  
諸謝金（記念誌執筆原稿料）の予算を560万円とする。

- (2) 研究助成金、持田記念学術賞（褒賞金）、留学補助金交付のため、贈呈式を実施する。その予算を620万円とする。（会議費280万円、旅費交通費250万円、雑費等90万円）
  
- (3) 研究助成金（30周年記念助成金含む）、持田記念学術賞（褒賞金）、留学補助金の交付対象者の選考を本財団選考委員に依頼する。その予算を580万円とする。（選考費500万円、通信運搬費等80万円）